

アライグマ・ハクビシン対策 実証ほの取り組み

最近、ハクビシンやアライグマによるぶどう等の果樹への被害報告が多く寄せられています。

そこで、安価で簡単に設置ができ、効果が高く慣れが生じない電気で撃退するシステムである「白落くん」(埼玉県開発)を設置しました。また、その原理を応用した進化型の電気柵の実証ほを設置して、効果の確認を行いました。

★白落くん

アライグマ・ハクビシンの網を登る習性を利用するため、防風網を利用します。登ってきたところで感電し撃退します。

1 実証期間 平成21年6月～9月

2 設置場所 飯能市ぶどう園

3 設置

・園周囲の高さ1m程度にパイプを設置し、防風網を張りました。パイプにマイナス電流を通電し、その直上に電線を張りプラス電流を通電しました。

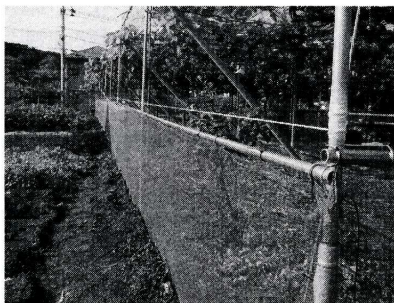
・資材費の節約のため、雨除け栽培の支柱を活用し、防風網と電線を張りました。

・実証ほを3a設置し、材料費は約5万円、設置時間は5時間×3人程度でした。

4 実証結果

昨年は、アライグマにより100房の被害がありました。

今年は、実証ほ周辺に多数のアライグマの足跡がありましたが、園への侵入はなく、被害はありませんでした。



白落くんを設置した園

★白落くん進化型

白落くんより設置を簡単にするため、トリカルネットを活用し電気柵を設置しました。

1 設置期間 平成21年8月～10月

2 設置場所 坂戸市いちじく園

3 設置

・園周囲に高さ30cmのトリカルネット(硬質網)を設置し、その直上に電線を張りプラス電流を通電しました。

・実証ほを3a設置し、材料費は約4万円、設置時間は3時間×3人程度でした。

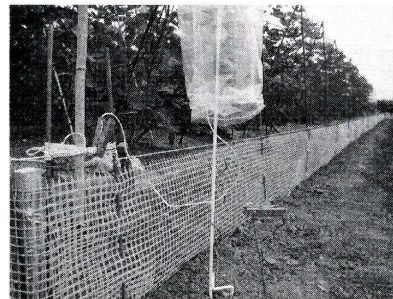
4 実証結果

昨年は、地上5cmと10cmに電気柵を設置し被害が防止できました。しかし漏電防止のための雑草管理が大変でした。

今年は、実証ほ周辺にハクビシンの足跡が多数ありましたが、園への侵入はなく、被害はありませんでした。また、雑草管理が省略できました。



昨年設置した地上部に2本の電線を張った電気柵



トリカルネット上にプラス電線を張る

★設置の注意事項

・対象獣の行動特性を理解した上で設置してください。

・電流を流す電気柵器は必ず市販のものを使用してください。